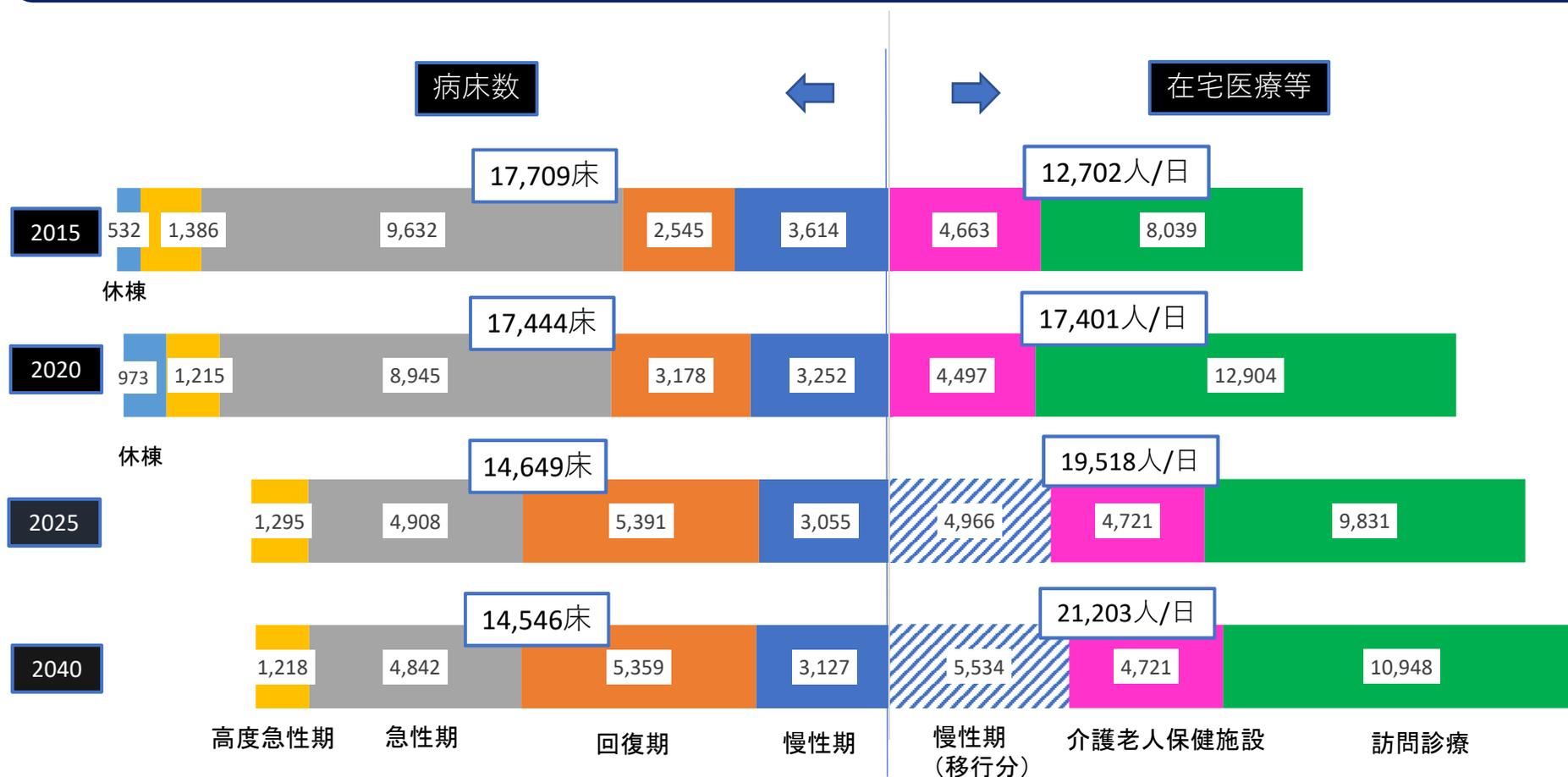


(参考資料1)

病床機能ごとの病床数及び在宅医療 等の推移について

病床機能ごとの病床数及び在宅医療等の推移（県全体）

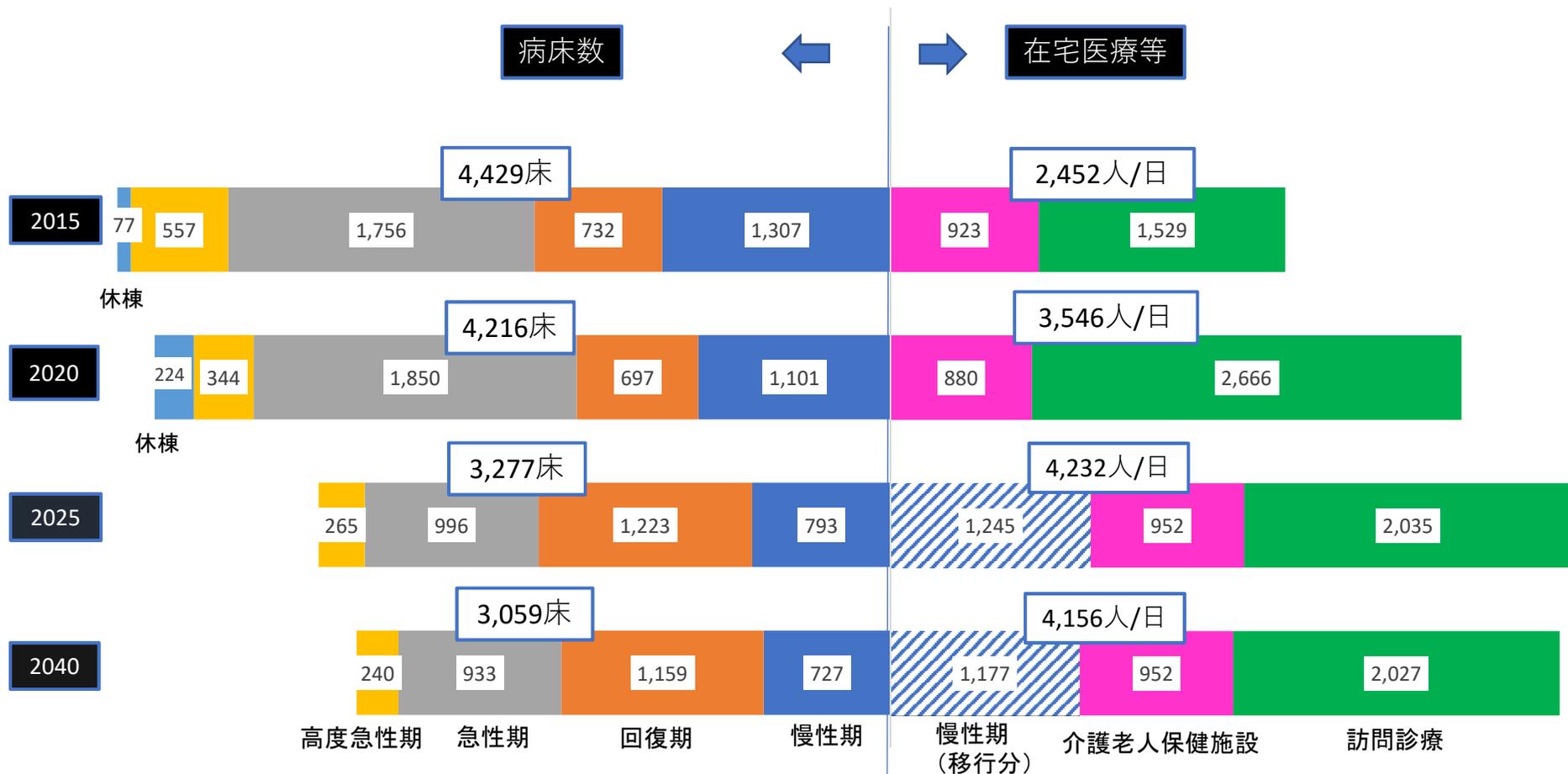
- 2020年時点の病床数と地域医療構想における2025年の必要量と比べると、回復期が2,213床不足している。
- 2020年時点の訪問診療を受けた患者数は12,904人となっており、2015年と比べ4,865人増加した。



※・病床数のうち、2015、2020は病床機能報告、2025、2040は県地域医療構想による。
 ・在宅医療等のうち、2015、2020の介護老人保健施設はおおいた高齢者いきいきプラン（第7期）による。
 ・在宅医療等のうち、2015の訪問診療は在宅医療に関するアンケート調査（県実施）、2020の訪問診療は大分県高齢者福祉課作成KDBデータによる。
 2025、2040の訪問診療、慢性期（移行分）は県地域医療構想の推計による。

病床機能ごとの病床数及び在宅医療等の推移（東部）

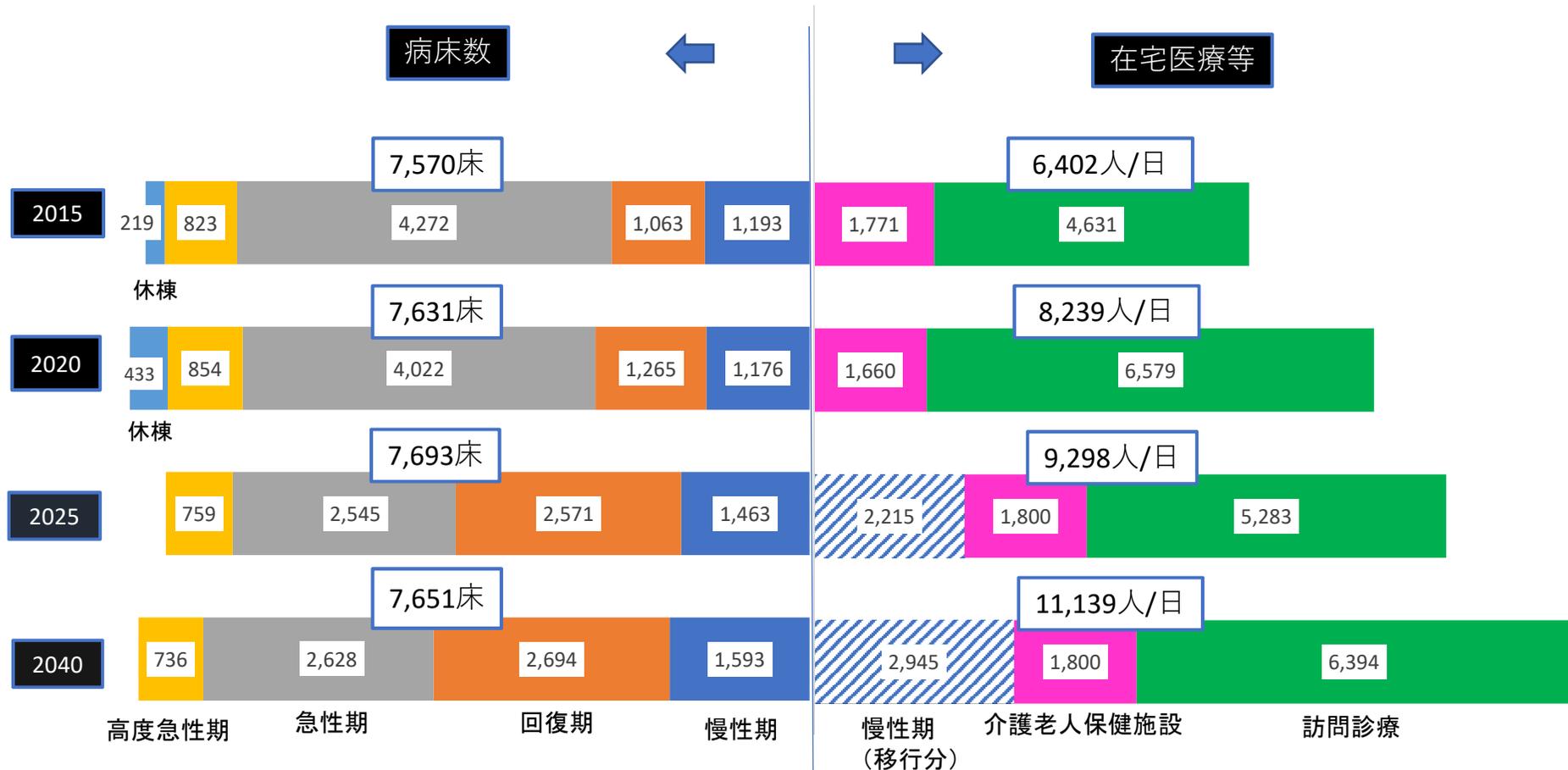
- 2020年時点の病床数と地域医療構想における2025年の必要量と比べると、回復期が526床不足している。
- 2020年時点の訪問診療を受けた患者数は2,666人となっており、2015年と比べ1,137人増加した。



※・病床数のうち、2015、2020は病床機能報告、2025、2040は県地域医療構想による。
 ・在宅医療等のうち、2015、2020の介護老人保健施設はおおいた高齢者いきいきプラン（第7期）による。
 ・在宅医療等のうち、2015の訪問診療は在宅医療に関するアンケート調査（県実施）、2020の訪問診療は大分県高齢者福祉課作成KDBデータによる。
 2025、2040の訪問診療、慢性期（移行分）は県地域医療構想の推計による。

病床機能ごとの病床数及び在宅医療等の推移（中部）

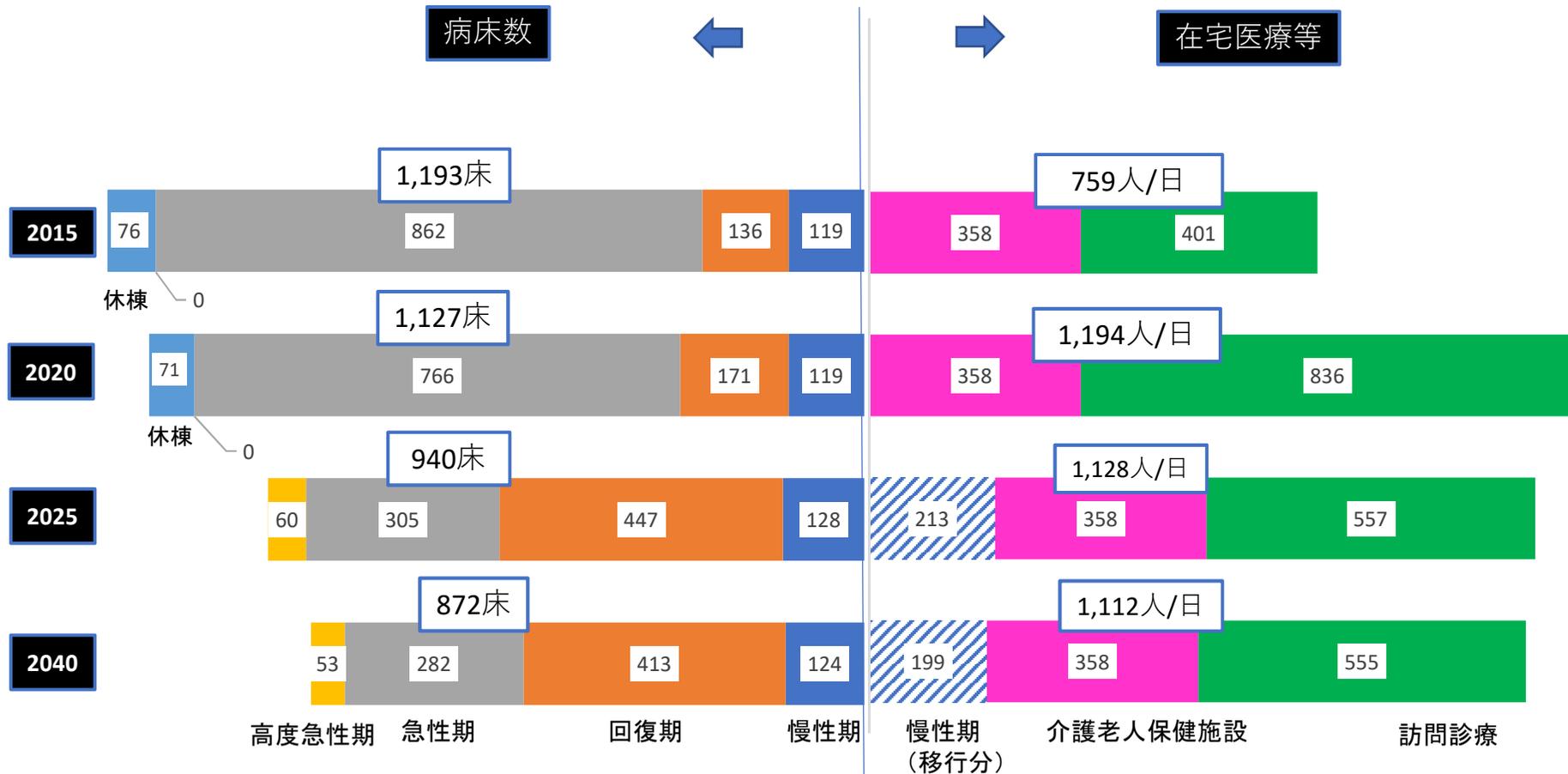
- 2020年時点の病床数と地域医療構想における2025年の必要量と比べると、回復期が1,306床不足している。
- 2020年時点の訪問診療を受けた患者数は6,579人となっており、2015年と比べ1,948人増加した。



※・病床数のうち、2015、2020は病床機能報告、2025、2040は県地域医療構想による。
 ・在宅医療等のうち、2015、2020の介護老人保健施設はおおいた高齢者いきいきプラン（第7期）による。
 ・在宅医療等のうち、2015の訪問診療は在宅医療に関するアンケート調査（県実施）、2020の訪問診療は大分県高齢者福祉課作成KDBデータによる。
 2025、2040の訪問診療、慢性期（移行分）は県地域医療構想の推計による。

病床機能ごとの病床数及び在宅医療等の推移（南部）

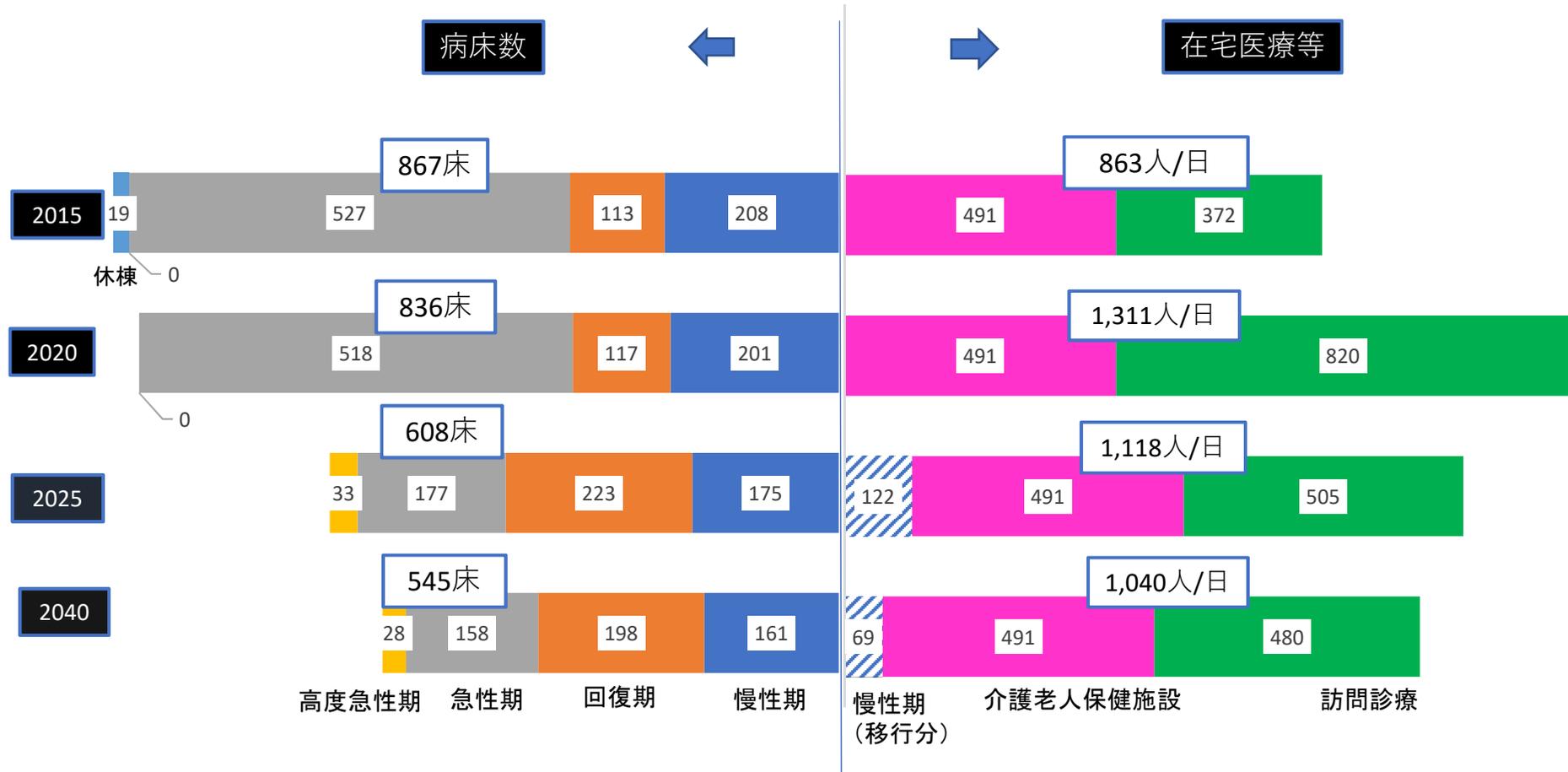
- 2020年時点の病床数と地域医療構想における2025年の必要量と比べると、回復期が276床不足している。
- 2020年時点の訪問診療を受けた患者数は836人となっており、2015年と比べ435人増加した。



※・病床数のうち、2015、2020は病床機能報告、2025、2040は県地域医療構想による。
 ・在宅医療等のうち、2015、2020の介護老人保健施設はおおいた高齢者いきいきプラン（第7期）による。
 ・在宅医療等のうち、2015の訪問診療は在宅医療に関するアンケート調査（県実施）、2020の訪問診療は大分県高齢者福祉課作成KDBデータによる。
 2025、2040の訪問診療、慢性期（移行分）は県地域医療構想の推計による。

病床機能ごとの病床数及び在宅医療等の推移（豊肥）

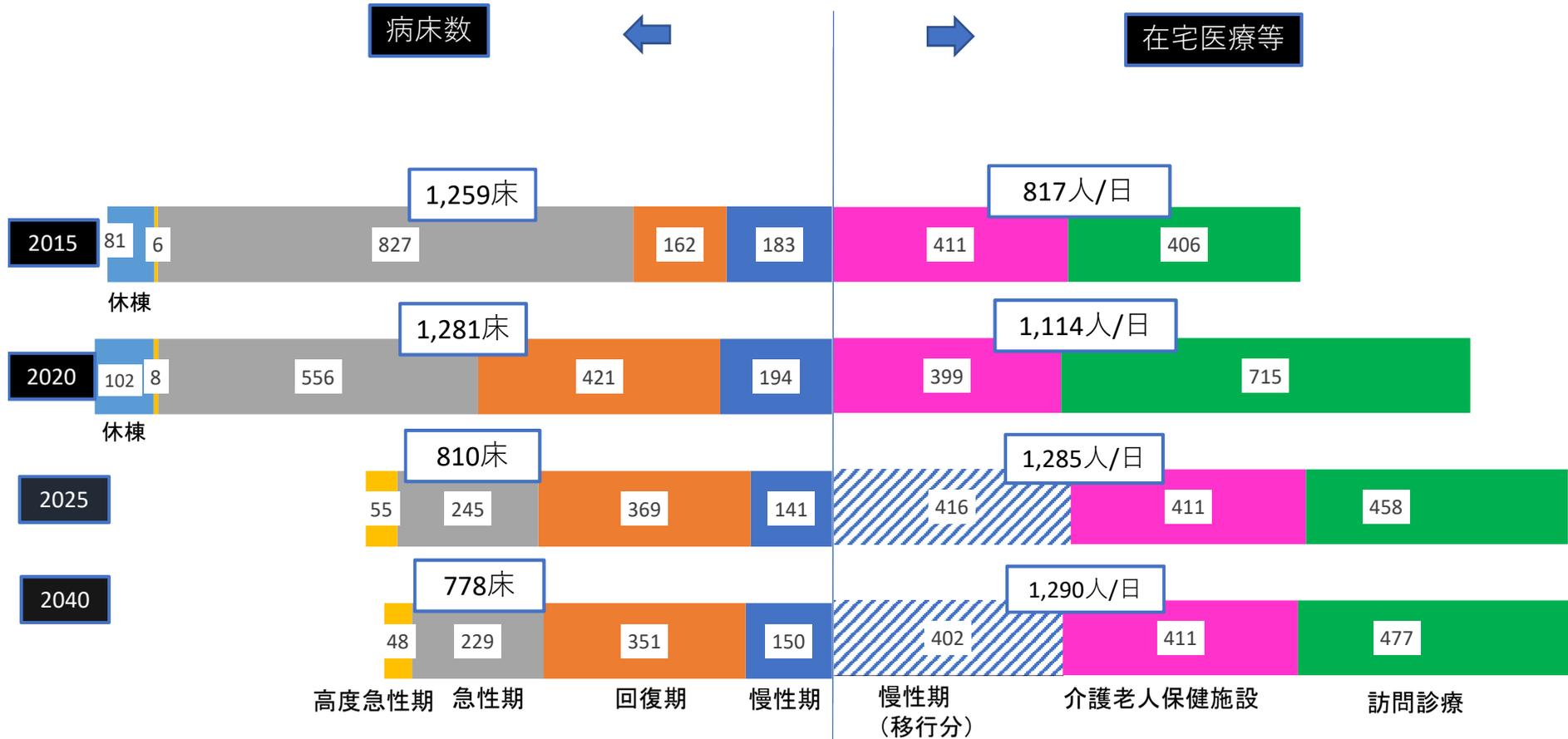
- 2020年時点の病床数と地域医療構想における2025年の必要量と比べると、回復期が106床不足している。
- 2020年時点の訪問診療を受けた患者数は820人となっており、2015年と比べ448人増加した。



※・病床数のうち、2015、2020は病床機能報告、2025、2040は県地域医療構想による。
 ・在宅医療等のうち、2015、2020の介護老人保健施設はおおいた高齢者いきいきプラン（第7期）による。
 ・在宅医療等のうち、2015の訪問診療は在宅医療に関するアンケート調査（県実施）、2020の訪問診療は大分県高齢者福祉課作成KDBデータによる。
 2025、2040の訪問診療、慢性期（移行分）は県地域医療構想の推計による。

病床機能ごとの病床数及び在宅医療等の推移（西部）

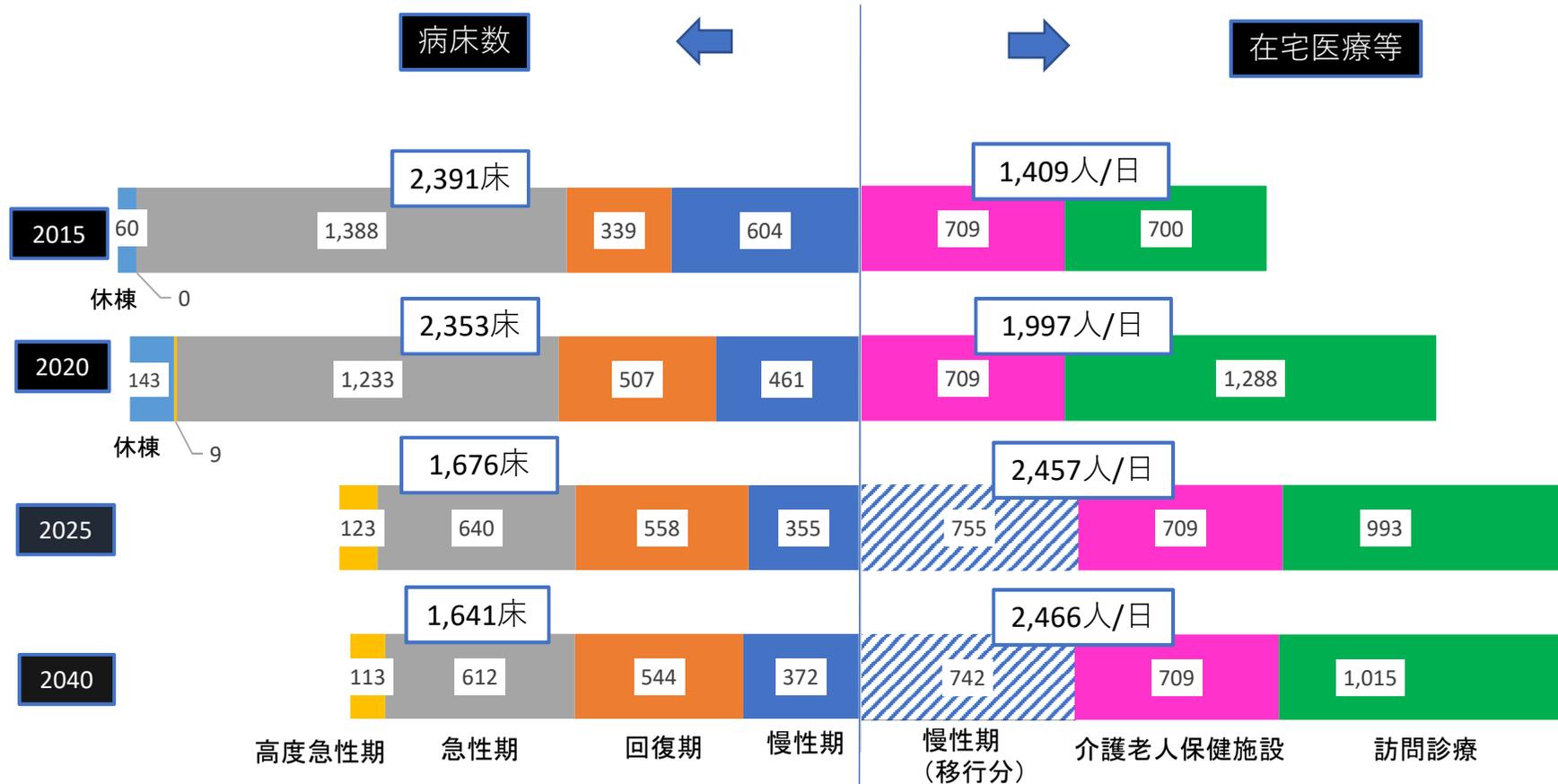
- 2020年時点の病床数と地域医療構想における2025年の必要量と比べると、高度急性期が47床不足している。
- 2020年時点の訪問診療を受けた患者数は715人となっており、2015年と比べ309人増加した。



※・病床数のうち、2015、2020は病床機能報告、2025、2040は県地域医療構想による。
 ・在宅医療等のうち、2015、2020の介護老人保健施設はおおいた高齢者いきいきプラン（第7期）による。
 ・在宅医療等のうち、2015の訪問診療は在宅医療に関するアンケート調査（県実施）、2020の訪問診療は大分県高齢者福祉課作成KDBデータによる。
 2025、2040の訪問診療、慢性期（移行分）は県地域医療構想の推計による。

病床機能ごとの病床数及び在宅医療等の推移（北部）

- 2020年時点の病床数と地域医療構想における2025年の必要量と比べると、回復期が51床不足している。
- 2020年時点の訪問診療を受けた患者数は1,288人となっており、2015年と比べ588人増加した。



※・病床数のうち、2015、2020は病床機能報告、2025、2040は県地域医療構想による。
 ・在宅医療等のうち、2015、2020の介護老人保健施設はおおいた高齢者いきいきプラン（第7期）による。
 ・在宅医療等のうち、2015の訪問診療は在宅医療に関するアンケート調査（県実施）、2020の訪問診療は大分県高齢者福祉課作成KDBデータによる。
 2025、2040の訪問診療、慢性期（移行分）は県地域医療構想の推計による。